

保護者負担の現状と公費化の取り組み

北広島市立西の里小学校

鎌田 晃

1 はじめに

石狩管内では、子どもに視点を置き、学校間連携による課題解決を目指し、学校現場における様々な課題に取り組み、具体的実践を進めることを研究の中心に据え、その中でも、財政財務活動に焦点をあてた取り組みは4年が経過しました。

また、この取り組みを進めるにあたって次の点を研究推進の基本姿勢としました。

子どもの生活の場としてのよりよい学校づくりに向け、育ちを支える保護者・教職員の願いや思いを共有し、これまで積み上げてきた研究と実践を基盤としながら、学校間連携という方法で具体的な実践に結びつけ、研究を進めていきます。

この間、各市町村においては、児童生徒氏名ゴム印や理科実習費、新1年生教材の公費化や徴収額の削減による保護者負担軽減、予算要望活動、子どもアンケートなどの取り組みにより、着実な進展がみられています。

2013（平成25）年度も、これまで同様、学校間連携による財政財務活動の推進を研究内容とし、特に、身近で取り組みやすい課題でもあり、管内的に意識が高まっている保護者負担軽減に重点を置いた論議を進め、各校での具体的な活動に結び付けることができるよう取り組んできました。

また、複数配置（「新たなミッションを担う

事務職員加配」を含む）についても、事務職員がお互いに協力協働できる関係を築くことを概ね共有できたと押さえ、複数の利点を生かしながら、協力して取り組むことを目指し、さらなる研究を進めています。

2 市町村による組織的実践

これまでの実践報告によると、組織全体で取り組むことにより成果を積み上げてきています。特に、保護者負担軽減では、児童生徒氏名ゴム印の公費化が多く各市町村で取り組まれるようになりました。また、学校徴収金においては、詳細な調査活動から費用の洗い出しを行い、理科実習費や新1年生教材の公費化への取り組み、学級活動費・生徒会費やPTA会費の減額が行われました。

その他、職業体験学習の交通費や修学旅行経費の調査からその課題を提言してまとめたり、市の補助金がどのくらい保護者負担軽減につながっているかを調査した市町村も見られました。

（1）石狩市

学校財政と学校事務の状況調査を実施し、実態の分析、課題を掘り起し、具体的な改善方法を探っています。

①学校徴収金（保護者負担）調査

2013（平成25）年度は、保護者負担軽減を図るべく、徴収実態調査を行いました。

多くの学校で、学校徴収金（学年教材費、各教科実習費、PTA会費等）にかかわる業務を担い、市経理と調整を図るなどして取り組みを進めています。徴収金をどう減らすか考えることも重要ですが、教育課程や教科運営の点からも考える必要があるのでは、といっ

た課題も見えています。

過去4年間、教材費等の保護者負担の公費化を予算要望の中心に据えて取り組んできたため、保護者負担の実態が鮮明になってきたとともに、公費化へ向けた取り組みについての論議も活発化され、実態調査の結果も予算要望に活かされています。

②各種補助金調査

補助金には、学校奨励プログラム事業交付金というものがあります。これは、学校の特色ある教育活動等の事業への補助金で、学校運営にとって貴重な財源となっています。

しかし、各学校において補助金執行担当者と市経理執行担当者間の調整・協議が不足であることが想定されたことから、まず、各学校の事務執行担当者等を調査しました。

ほとんどの学校で、校内再配分予算案に補助金とのかかわりが触れられていないことから、今後の調査とはなりますが、補助金がどのように使われているのか、配当予算、学校徴収金と一体的に、校内全体で確認していく必要があります。

③未納金に関する調査

学校徴収金の未納状況について調査を行いました。

未納率、未納額が減少した学校もありますが、依然として未納が減らない学校もありました。また、未納金の処理方法も明確になっていない場合もあるようです。

未納金の処理方法など学校内での金銭処理の状況や監査体制、決算報告などについても調べる必要があります。

④市内の就学援助認定状況

就学援助認定家庭の増加が改めて社会問題化している昨今、石狩市では、2005(平成17)年4月から現在の認定基準とされています。

今回の調査では、認定児童生徒は、全児童生徒数の28%に達していました。

就学援助制度については、連携会議として関与できる事柄がほとんどなく、学校現場として周知活動を徹底することが大切であり、制度の現状について課題意識を持ち続ける必要があります。

⑤職業体験学習交通費・引率旅費調査

職業体験学習の交通費にかかわる家庭負担について、各中学校の実態を調査しました。

スクールバス利用という現物支給はあるものの一部の学校にとどまっています。また、スクールバス利用のない学校においては、個人負担に対する補助的給付を行うための財源が位置づいていません。

交通費を無定量に措置することは、財政上困難なため、当面、プログラム奨励補助金の運用により手当することを検討する必要があります。

⑥修学旅行経費調査

引率職員の自己負担について資料化するため、各学校の集金額や就学援助基準と差額などを調査しました。

引率者だけではなく、家庭の負担の軽減も含めた観点で調査を充実させ、実施学年を中心に活用してもらう方法を考えることとしました。

※資料①『保護者負担軽減のため、保護者負担を公費措置する要望の内訳』

(2) 当別町・新篠津村

ここ数年にわたり、学校徴収金に着目し、保護者負担軽減の取り組みを進めてきました。

氏名ゴム印については、研究対象としたことを契機に、小学校で購入する場合、公費負担への移行や、小中学校間の引き継ぎを行うことで中学校で新たに徴収しないなどの変化が見えました。

また、紙類については、ひとくくりにはできない部分も見受けられますが、保護者負担軽減が事務職員と他教職員と連携して進めることが重要であると再認識させられました。

2013（平成25）年度は、前年度と同様の内容で、保護者負担軽減にかかわる調査を行い、取り組みの定着化を図りました。

調査結果から、学校予算の支出を工夫して生み出した予算を効果的に配分し、筆ペン、版画材など教具の公費化が進んでいることが確認されました。

また、PTA会費、進路費、生徒会費などの一部公費化に伴い、会費の削減及び値上げの回避につながる実践が進められています。

予算の捻出については、少しでも、安価な用品を購入することにより競争が生まれ、地元業者も安価な用品を提供してくれるようになり、コストダウンを図る工夫をしています。

ゴム印や紙類の保護者負担軽減は定着してきていますが、一方で、ワーク等問題集や実習費について踏み込みにくく、また、学級費等の削減が進まない学校においては、現金買いを望む職員が多く、徴収金を削減できない事情も垣間見えました。

配当予算削減により公費負担にも壁が見えてきていることから、予算要望等組織的に

動く必要性について継続して検討していく予定です。

※資料②『学校徴収金についての調査<結果>』

(3) 江別市

2006（平成18）年度より学校徴収金に着目し、保護者負担軽減の取り組みを進めてきました。

2013（平成25）年度は、市内各校の徴収金の実態や保護者負担軽減に向け、「小学校新一年生の個人購入教材の公費購入の取り組み」や「中学校理科実習教材の学校徴収金負担状況」、「全学年を通しての個人購入教材等の公費化」などの調査を通じ、その実態や傾向を明らかにしました。この調査結果からその実態や傾向を明らかにし、取り組みの検証、課題解決の方策、今後に向けての方向性等検討を進めてきました。

①児童生徒氏名ゴム印の公費化

2010（平成22）年度から取り組みを進め、2013（平成25）年度に公費化されていない学校も、2014（平成26）年度の公費化を検討しており、全校での公費化実現が近づいてきました。小中学校でのゴム印の引き継ぎもほぼ全校区で実施されています。今後は、配分予算の費目化も視野に入れ、予算要望につなげる必要もあります。

②小学校新一年生個人購入教材の公費購入

粘土板・なわとびを学校備付けとし、個人購入を廃止した実践が報告されました。

予算と相談しながら方策を検討し、算数セット教材などで備品化を考えられるものの購入は一区切りつき、これ以上の取り組み推進は予算面から難しいという意見もあり、今

後着眼点を変えた工夫による負担軽減方策を検討していく必要があります。

③中学校理科実習費の公費化

教職員との共通理解・協力協働を図り、できるところから徴収金削減を進めてきました。

しかし、学校独自での対策に限界が見えてきたこともあり、現在は、理科消耗品費等に関する保護者負担及び公費負担に関する調査から配分予算への費目の増設を要望するなど、予算要望グループと連動した実践に着手しています。

④全学年を通じての個人購入教材の公費化や保護者負担軽減

学年教材費の見直しによる徴収金の減額化や、実習費徴収単価を値下げし、不足分を公費負担、また、PTA会計から支出していた壺花の公費化、PTA会費の削減などの取り組みも報告され、限りある予算の中、できるところから実践してします。

※資料③『小学校②全学年を通しての個人購入教材の公費化』

『保護者負担軽減の取り組み等の調査回答(1)中学校②全学年を通しての個人購入教材の公費化』

(4) 北広島市

北広島市の特徴(地区連携)を活かしつつ、協議会の研究推進グループを市内連携の担当として、市内連携に軸足を移し、取り組みを行いました。

①各種補助金の活用調査

市の補助金を学校財政財務活動の観点か

ら、事務職員のかかわりを調査したところ、学校により異なることがわかりました。

この補助事業が打ち切りになった場合の影響や職員全体が補助金の存在や執行についてわからないことが問題ではないかとの意見から、この補助金が保護者負担軽減に果たしている役割を明らかにし、また教職員への周知について検討しました。

まず、活用状況調査を行った結果、小学校では、補助金総額の39.4%が社会見学の際の施設利用やスキー学習のバス代など交通費の補助に充てられ、中学校では、32.7%が職場体験や農業体験、スキー学習のバス代に充てられていました。

これらが、保護者から徴収することを考えると、この補助金は大変有効に活用され、かつ、保護者負担軽減に大きな役割を担っていると言えます。

更に、保護者負担軽減につなげることができないか追調査した結果、校外学習に関して、小学校では、フィールドワーク、スキー学習バス代、講師謝礼などが主な支出で、補助も一部又は全部と各学校により違いがありました。中学校では、スキー学習バス代、職業体験交通費、講師謝礼が主な支出ですが、その他に、スキー学習保険代、高校体験入学バス代などにも支出されていることがわかりました。

また、消耗品に関しては、学校園・畑・環境整備(花壇など)の苗、肥料、資材、インク・トナー、コピー用紙、調理実習・収穫祭等の材料、謝礼、借用料などにも支出されていました。

なお、調査結果や市補助金の活用内容などは、教職員向け事務日より「学校事務」でも紹介しました。

②理科（教育振興需用費）調査

また、北広島市では、理科消耗品費執行のため、「理科」という予算項目が措置されています。（教育振興費）

今回、保護者負担や学校運営費の公費化のかかわりから、実績について実態調査を行い、今後の取り組みの資料づくりを行いました。

小学校では、「理科」の配分額では足りず、学校管理費からの支出もありました。また、セット教材を中心に保護者に依存している実態が明らかになりました。

中学校では、配分額が足りない学校、十分足りている学校それぞれある中で、支出がほとんどない学校もあるものの、必要な実習材料の在庫が十分にあるため、保護者負担もないという実態も明らかになっています。

※資料④『学校事務18号』

(5) 恵庭市

学校間連携会議において、共通認識のもと、予算要望、保護者負担軽減等の取り組みを進めています。

2013（平成25）年度から就学援助費（学用品費）の支給方法が学校長口座振込みに変更になったことから、保護者負担軽減の推進へ向けて、取り組むことにしました。

①教材費決定へのかかわり

一部の経費を公費負担したり、徴収そのものを中止した学校、項目は削減できなかったが、徴収金額が減少した学校、徴収を中止した分を配分予算で措置した学校などもあり、教材費決定に何らかの形でかかわりを持ち、保護者負担軽減に取り組みました。

②今後の公費負担

市内統一して公費負担に取り組むべき項目として「ゴム印」があげられていますが、既に多くの学校で公費負担となっています。小学校で公費により購入された「ゴム印」を中学校へ引き継ぐことにより、僅かですが保護者負担軽減につながっています。

事務職員がどのように学校徴収金決定にかかわり、公費負担も含め、予算執行や予算要望にどのように生かしていくかを考え、事務職員の財政財務活動における役割を確認しました。

また、学級活動費を取り組んではどうかとの意見が多く出され、今後、学校間連携会議で具体的な取り組みを進める計画です。

※資料⑤『財政財務活動における保護者負担軽減の取り組みについて集約』

(6) 千歳市

教育予算と保護者負担軽減を連動させ、取り組みを進めることとなりました。

初めての取り組みのため、今後の保護者負担軽減の取り組み方を見出すことを目的とし、まず、これまでに市内各校や地域連携で行われた保護者負担軽減の取り組み等の情報収集を行い、現在の状況を把握することに努めました。

集約の結果、取り組みのきっかけは、①学校環境の変化（学校の統合・分離・新設）、②他市町村から人事異動後、③地域連携と大きく3パターンにまとめることができました。

①学校環境の変化について

統合・分離、生徒数の減少により、実習費などの保護者負担金が増加することが予想されたため、公費で少しでも多く負担できる体

制を整えました。

また、別の学校では、活動内容の精選・効率化を図ることで保護者への負担を抑え、15%の費用削減につなげることができました。

②他市町村から人事異動後について

ワークなど実習費の10%削減を目標として取り組みを行い、実習に必要な高額消耗品を可能な範囲で公費負担することで、徴収金を減額できた事例もありました。

また、学力検査代が公費負担されたことをきっかけに、教材費の見直しを行い、用紙代の一部を公費負担することで保護者負担の軽減を実現しました。

③地域連携について

中学校区の地域連携活動として、氏名ゴム印を小学校で購入し、卒業後は、中学校へそのまま引き継ぎ、利用することにしました。

このように連携組織を活用した保護者負担軽減が行われていることを確認しました。その後、新たに各小中学校の教材費・徴収金調査を行い、これを受けて、学校間連携のつながりを利用した保護者負担軽減の取り組みを進めています。

※資料⑥『教材費・徴収金調査総括表1』

3 おわりに

石狩管内では、学校間連携による財政財務活動に焦点を当て、特に意識が高まっている保護者負担軽減に重点を置いて取り組みを進めてきました。

ここ数年の取り組みから、公費化へ向けた論議を始め、各市町村でも組織的な実践により成果を上げてきている一方、多くの課題も見えてきています。

- ・調査のまとめ方やデータの公表の仕方の工夫により、校内での取り組みを容易にすること。
- ・児童生徒数及び学級減等による消耗品予算の大幅削減、消費税増税による危機感を学校単独での問題とすることなく、学校間連携会議等を活用し、今まで以上に課題解決に向けた連携を深めていくこと。
- ・学校の徴収金の実態や保護者負担軽減の取り組みなどの調査と交流の定着により、ある程度実践も進んだことから、新たな取り組み方法の検討と、着眼点を変えた軽減策を検討すること。
- ・保護者負担を軽減するため、支出状況の見直し、補助金を含めた教育予算を総体的に把握するなど、課題の資料化や数値化を予算要望すること。
- ・必要な教材、適正な教材費の確定のために教員と協働する取り組みの継続、教育課程への理解を図ること。
- ・保護者負担軽減の取り組みを、教育予算要望活動に効果的に結び付けていくために、短期的な要望活動、長期的に取り組める要望活動を精査し、また他機関と連携を図ること。

これらの課題解決に向け、今後も学校間連携を強化させ、更なる進展を目指したいと考えています。

そのことで、私たち学校事務職員が学校にいる意味を確かなものにしていきたい。そして、今年度も学校間連携による財政財務活動の推進を研究内容とし、「保護者負担軽減」を義務教育費無償を希求する立場から「保護者負担の公費化（軽減）」と捉え直し、研究実践を一步進め子どもの学習権を保障する取り組みの推進・教育環境整備等の充実を目指します。

資料 1

保護者負担軽減のため、保護者負担を公費措置する要望の内訳

| 学校名 | 要望金額 | 要望内容 | 要望内容の説明 | | 備考 | | |
|-------------|-----------|---------------------|----------|------------|---------|------|--------|
| | | | 学年児童生徒数等 | 一人当たり金額(円) | | | |
| A小 | 77,440 | 生活科(あざがおセット他) | 1年 10名 | @840 | 8,400 | | |
| | | 生活科(ミニトマト) | 2年 12名 | @270 | 3,240 | | |
| | | 理科(豆電球風や工の働き) | 3年 10名 | @300 | 3,000 | | |
| | | 理科(空気のほたらき) | 4年 10名 | @540 | 5,400 | | |
| | | 理科(めだか用品) | 5年 10名 | @500 | 5,000 | | |
| | | 図工(こねこねとびたせ、加加ゆらゆら) | 1年 10名 | @300 | 3,000 | | |
| | | 図工(紙粘土がけ77他) | 3年 10名 | @460 | 4,600 | | |
| | | 図工(3Dコガ-ル他) | 4年 10名 | @510 | 5,100 | | |
| | | 図工(両面が-ジ版画板他) | 5年 10名 | @720 | 7,200 | | |
| | | 図工(とんぼを動かすのかな他) | 6年 11名 | @1,120 | 12,320 | | |
| | | 家庭科(調理実習カゴセット) | 5年 10名 | @570 | 5,700 | | |
| | | 家庭科(家庭科材料費J7 D7) | 6年 11名 | @700 | 7,700 | | |
| B小 | 78,270 | 豆電球と磁石 | 3年 47名 | @360 | 16,920 | | |
| | | 風やゴムのほたらき | 3年 47名 | @230 | 10,810 | | |
| | | 種・苗 | 3年 47名 | @100 | 4,700 | | |
| | | 電気と光の働き | 4年 46名 | @380 | 17,480 | | |
| | | 空気と水 | 4年 46名 | @210 | 9,660 | | |
| | | 種・苗 | 4年 46名 | @50 | 2,300 | | |
| | | 電流と電磁石 | 5年 41名 | @300 | 12,300 | | |
| | | 種・肥料・めだか | 5年 41名 | @100 | 4,100 | | |
| | | D小 | 267,310 | あざがおセット | 1年 32名 | @210 | 6,840 |
| | | | | ミニトマトセット | 2年 147名 | @270 | 39,690 |
| | | | | 種・苗 代 | 3年 157名 | @70 | 10,990 |
| | | | | 版画用紙・インク代 | 3年 157名 | @110 | 17,270 |
| へちま栽培代 | 4年 153名 | | | @30 | 4,590 | | |
| 版画セット大判Bセット | 4年 153名 | | | @310 | 47,430 | | |
| メダカ関係 | 5年 149名 | | | @60 | 8,940 | | |
| 種・苗 代 | 5年 149名 | | | @50 | 7,450 | | |
| 版画用紙代 | 5年 149名 | | | @150 | 22,350 | | |
| 版画大判Bセット | 6年 169名 | | | @240 | 40,560 | | |
| 生活科 | 1年 92名 | | | @1,250 | 115,000 | | |
| F小 | 1,190,280 | | | 生活科 | 2年 79名 | @360 | 28,440 |
| | | 理科 | 3年 125名 | @945 | 118,125 | | |
| | | 理科 | 4年 97名 | @580 | 56,260 | | |
| | | 理科 | 5年 104名 | @550 | 57,200 | | |
| | | 図工 | 1年 92名 | @650 | 59,800 | | |
| | | 図工 | 2年 79名 | @1,130 | 89,270 | | |
| | | 図工 | 3年 125名 | @945 | 118,125 | | |
| | | 図工 | 4年 97名 | @940 | 91,180 | | |
| | | 図工 | 5年 104名 | @1,250 | 127,920 | | |
| | | 図工 | 6年 90名 | @1,910 | 171,900 | | |
| | | 家庭科 | 5年 104名 | @740 | 76,960 | | |
| | | 家庭科 | 6年 90名 | @890 | 80,100 | | |

| 学校名 | 要望金額 | 要望内容 | 要望内容の説明 | | 備考 |
|--------------|-----------|---------------------|----------|------------|---------|
| | | | 学年児童生徒数等 | 一人当たり金額(円) | |
| G小 | 706,602 | 生活科、図工(あざがおセット外) | 1年 68名 | @820 | 55,760 |
| | | 生活科、図工(苗、紙ねんど外) | 2年 69名 | @860 | 59,340 |
| | | 理科、図工(磁石、アトケイ外) | 3年 72名 | @1,680 | 120,960 |
| | | 理科、図工(電気のはたらき外) | 4年 79名 | @1,380 | 109,020 |
| | | 理科、図工、家庭科(電流と磁石外) | 5年 62名 | @3,070 | 190,340 |
| | | 理科、図工、家庭科(版画版Wセット外) | 6年 62名 | @2,761 | 171,182 |
| | | あざがおセットB-1型 | 1年 14名 | @610 | 8,540 |
| | | ぐにやぐにや風 | 1年 14名 | @160 | 2,240 |
| | | ミニトマトセット | 2年 9名 | @270 | 2,430 |
| | | わたしの絵本づくり | 2年 9名 | @230 | 2,070 |
| | | 花の種 | 2年 9名 | @50 | 450 |
| | | 風やゴムのほたらき | 3年 16名 | @230 | 3,680 |
| 豆電球と磁石 | 3年 16名 | @330 | 5,280 | | |
| 花の種 | 3年 16名 | @50 | 800 | | |
| キャベツの苗 | 3年 16名 | @50 | 800 | | |
| 電気と光 | 4年 11名 | @340 | 3,740 | | |
| 空気と水 | 4年 11名 | @210 | 2,310 | | |
| 電流と電磁石 実験セット | 5年 15名 | @410 | 6,150 | | |
| a中 | 563,250 | 美術教材費 | 全学年 114名 | @1,200 | 136,800 |
| | | 家庭科教材費 | 全学年 114名 | @1,200 | 136,800 |
| | | 理科教材費 | 全学年 114名 | @200 | 22,800 |
| | | 美術実習費 | 3年 99名 | @990 | 98,010 |
| | | 技術実習費 | 1年 123名 | @1,890 | 232,470 |
| | | 技術実習費 | 2年 102名 | @1,020 | 104,040 |
| | | 技術実習費 | 3年 99名 | @150 | 14,850 |
| | | 家庭科実習費 | 1年 123名 | @660 | 81,180 |
| | | 家庭科実習費 | 2年 102名 | @870 | 88,740 |
| | | 家庭科実習費 | 3年 99名 | @120 | 11,880 |
| | | 家庭科実習費 | 1年 86名 | @900 | 77,400 |
| | | 家庭科実習費 | 2年 118名 | @900 | 106,200 |
| 家庭科実習費 | 3年 96名 | @900 | 86,400 | | |
| 理科費 | 全学年 300名 | @100 | 30,000 | | |
| e中 | 1,778,540 | 理科実習費 | 全学年 475名 | @500 | 237,500 |
| | | 技術家庭・美術実習費 | 1年 154名 | @3,010 | 463,540 |
| | | 技術家庭・美術実習費 | 2年 158名 | @4,550 | 718,900 |
| | | 技術家庭・美術実習費 | 3年 163名 | @2,200 | 358,600 |

資料 2

学校徴収金についての調査 <結果>

Q.1. 平成24年度に学校徴収金で保護者負担が軽減された事項はありますか

- A小 24年度から実施した朝書道で使用する筆ペンを個人負担でなく公費負担にした。
- B小 H23年度もH22年度同様、書道半紙、版画用和紙と版画用インクを公費支出に変更した。また、H24年度の教材費項目の用紙代が減額したのは、6学年中、2学年にとどまった。また、各学年の1人あたり教材費金額は前年度同様であった。
- A中 A小学校で公費化している書写用半紙の公費化、3学年保護者から徴収している連絡費の内、郵券代一部公費化（連絡費値上げを回避）
- D中 用紙代廃止 生徒会費1,200円→600円

Q.2. 平成25年度に学校徴収金で保護者負担が軽減された事項はありますか

- A小 新1年生のネームペン及びクリアーホルダーを公費負担し徴収金を減らした。
- B小 運動会の煙火代をPTA負担から公費負担にした。
- B小 今までの書道半紙、版画用和紙、版画用インクに加えて、公費支出項目を学年により変化させた。
1年生→ 紙粘土と収納ケース、 ※但し紙粘土は年1回分だけ。
2年生・3年生→紙粘土
4年生→版画板
5年生→版画板とニス
6年生→ステーションとニス
H24年度の年度末反省で保護者負担軽減意見を書き、尚かつ3月末に文書で上記の項目を公費で支出するので教材費金額が軽減されるよう呼びかけたところ、徴収金額が6学年中5学年減額し、その減額は200円から300円であった。
- A中 PTA会費で支出していた学校花壇の肥料を公費化（PTA会費値上げを回避）
消耗品予算減額のため、今までより安い用紙を購入（用紙費値上げを回避）

Q.3. 平成25年度以降、学校徴収金で保護者負担軽減を検討している事項はありますか

- A小 今年度、消耗品予算が約10万円削減されました。来年度消費税が増税される予定なので、現状では、軽減を検討する余地がありません。
- B小 年々、学校配分予算が減額している状況で、さらに今後は消費税率が高くなる予想もあり教材費項目の向を公費支出にすべきか迷っている。
- A中 次年度以降、実習費を削減する方向で担当教諭と検討する
- C中 学級費：300円（ひとりあたり）②学習用77円/人費：210円（ひとりあたり）
- D中 生徒会誌

下記の項目で、保護者負担軽減の取り組みが可能な内容はありますか？
また、軽減が困難な場合の問題点はありますか？
取り組んでみたが、実現できなかったことはありますか？

| 私費 | 内 容 |
|---------------------|--|
| 用紙代 | A中 徴収しています。理由は口頭にて。減額は可能と思われる B小 書道半紙や版画用和紙の公費支出を継続する。 C中 いわゆる「用紙費」の徴収はありません（公費措置）。 D中 廃止済み |
| PTA会費 | C中 運動会の景品費などをP費でまかっていますが、公費化できるか・すべきかは不明です。 D中 家庭数からみたら現在の金額が妥当と思う。 |
| 修学旅行費 | B小 しおりの材料費（上質紙や写真用紙）は公費化。（40円～80円）。 C中 しおりの公費化は可能と思われる。 D中 しおりは公費化済み |
| 宿泊研修費 | C中 しおりの公費化は可能と思われる。 D中 しおりは公費化済み |
| 教材費 (理科・技術家庭・美術) | D中 理科、技術科、美術科、家庭科の消耗品は公費予算化されている。 |
| (児童) 生徒会費 | C中 一部の公費化は可能と思われる。 D中 減額済み |
| 進路費 | |
| その他 | |
| 公費 | 内 容 節約術などお聞きできればと、考えます |
| 用紙類・コピー | A小 カウネットやたのめなどのカタログ通販により安価な用紙を購入 D小 コピー機の契約変更を考えている |
| 文具 | A小 カウネットやたのめなどのカタログ通販により安価な文具等を購入 |
| その他 | B小 知能検査代を予算要望に盛り込み、現在町教委負担となっている学力検査代と同様扱いをめざしていきたい。 |

Q.4. 保護者負担軽減の取り組みについてお考えはありますか？

- A小 O.3と同じ
- B小 消費税高率化予定が、公費化を鈍化させる脅威を感じる。
- B中 消耗品費が削減されて、限界を感じる
- C中 各教科にかかわる問題集や資料などの範囲には踏み込みにくい。その価格が適正なのかどうかの判断が難しい。

Q.5. 予算要望資料に載せた方がよい項目はありますか？

- A小 消費税増税に伴う予算措置、知能テスト代の教委負担化
- B小 知能テスト代の教委負担化
- B中 知能テスト代の教委負担化
- A中 机椅子の新JIS化の計画

Q.6. 学校間連携で予算要望に関わりをもたせたい手段等でお考えはありますか？

- A小 ハンコン教室機器更新の年度計画を明確にさせる。（更新時期が遅いため保障期間が過ぎ故障が多く発生しても修理してもらえない。そのためICT教育に対応できていない。）
- B小 各校共通で要望を挙げる。
・校務用ハンコンOSのバージョンアップ要望（X Pのサポートが26年4月で終了のため）
- A中 各校共通で要望を挙げる、机椅子の新JIS化

予算要望で実現した項目

- D小 全児童分新JIS机椅子導入、体育館LED照明化、アルミサッカークール

資料 3

【小学校】②全学年を通しての個人購入教材の公費化

| 学校名 | 児童数 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 関連記述 |
|-----|-----|--|---|--|----------|---|
| B | 21 | <ul style="list-style-type: none"> ・学年教材費の見直し(6年間で800円減) ・用紙類、フロッピー、セロテープは公費負担 | <ul style="list-style-type: none"> ・フラットファイル児童1人当たり2冊公費購入 | <ul style="list-style-type: none"> ・学年教材費の見直し(6年間で1000円減) ・生活科あさがおセット(640円)、ミニマセット(250円)の公費購入。 | → | <ul style="list-style-type: none"> ・用紙類(画用紙、色画用紙、半紙、版画紙、模造紙) |
| C | 54 | | なるこ(80個をセットとして購入) | 1年朝顔セット(640円)、2年ミニマセット(270円)、3年風やゴムのはたらき(170円) | → 検附中 | 一度公費化した教材については、継続する。中学校の理科実習費の取り組みと連動して、理科教材費の公費化を図りたい。 |
| G | 193 | 全学年の学級活動費 児童一人あたり200円の補助、1年生朝顔セット@600・2年生ミニマセット@250を全額公費負担、全学年の学級活動費徴収額を児童一人あたり100円以下とするを校内で確認 | → | 運動会よさこい用リストラバンド(193名分)購入 | → | 理科教材費の一部公費化を図りたい。 |
| H | 227 | 画用紙 | 画用紙 | 画用紙 | 未定 | 消費税UPによる財源確保が課題 |
| I | 301 | | | なし | | 印刷関係の支出が予算を圧迫しているため限界です。 |
| J | 322 | | <ul style="list-style-type: none"> ・ホワイトボード マーカー1本 ・フラットファイル1冊 ・総合学習 学年教材費補助一人300円 | <ul style="list-style-type: none"> ・ホワイトボード マーカー1本 ・フラットファイル1冊 ・総合学習 学年教材費補助一人300円 | → | |
| N | 379 | | → | → | → | |
| Q | 548 | マス目模造紙の公費購入 | | | 検討 | |
| S | 832 | 用紙・ファイル等の公費化の促進 | | | // | |

保護者負担軽減の取り組み等の調査回答(1)(中学校)

②全学年を通しての個人購入教材の公費化

| 学校名 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 関連記述 |
|----------|-----------------------------|-----------------------------|--|--|---------------------------------|
| A (603名) | 教科消耗品費を全教科に具体的に配分。(総額256千円) | 教科消耗品費を全教科に具体的に配分。(総額257千円) | 教科消耗品費を全教科に具体的に配分。(総額255千円) | 教科消耗品費を全教科に具体的に配分。 | 職員会議で保護者負担の軽減について検討するようお願いしている。 |
| B (302名) | | | | | 特になし |
| C (315名) | 生徒会費100円減額 理科実験費の減額 | 理科実験費の減額 | 生徒手帳20円減額 名札210円減額 実技教科に消耗費予算配分してその分を徴収額その分を充てる 理科実験費の公費化 | | |
| E (459名) | | | | 1人当たり100円というところあるので、理科については公費化をしていきたい。 | |
| G (390名) | | | | | 予算のこともあり、実現できていません。 |
| H (572名) | | | 理科及び家庭科実習費徴収準備の値下げに伴い、不足分公費負担 | | |

学校事務

第 18 号 平成 25 年 2 月 7 日 発行

発行：北広島市公立小中学校事務職員連携会議

責任者：議長 松田 勉（西部小学校）

今年度の北広島市公立小中学校事務職員連携会議（以下連携会議）では、保護者負担軽減をテーマに、市内全体で、「児童生徒氏名ゴム印の公費化」と「市補助金についての調査」を進めてきました。

今回は、それらの取り組みの進捗状況と調査結果について紹介させていただきます。

児童生徒氏名ゴム印の公費化への取り組み ～保護者負担軽減のための氏名ゴム印公費化～

児童生徒氏名ゴム印の公費化へ向けての取り組みは 3 年前から連携会議の課題として設定し、各校で取り組んできました。

今年度の調査では、児童生徒氏名ゴム印を購入（小学校からの引き継ぎを含め）した 14 校中 9 校（約 6 割）が公費化されました。昨年度は、児童生徒氏名ゴム印を公費化した学校が 16 校中 7 校（約 4 割）であったことから、取り組みの成果が見られます。また、次年度以降公費化を検討している学校も 3 校予定されており、市内全校での公費化へ着実に近づいています。

しかし、市内全校での公費化となるには、各校の予算事情の違いなどの課題もあります。また、公費化に向けては、始める時期の調整や、購入事務手続・役割の変更といった点で、校内での共通認識を得ることや小中学校間の児童生徒氏名ゴム印引き継ぎを含めた連携も必要となります。

市内すべての学校の完全な公費化は確かに難しいですが、事務職員の地区連携の中には、今年度の重要課題として取り組んでいる地区もあることから、次年度に向けてさらに拡がりが見られるよう取り組んでいきます。

児童生徒氏名印公費化の割合

■ 公費化された学校 ■ 公費化されていない学校

平成 23 年度



平成 24 年度



※平成 24 年度には小学校の統合があったため市内の学校数が変わっています。

市補助金調査の取り組み

～保護者負担軽減と学校職員の共通理解のために～

市から総合学習等の補助金が出ているのはご存知だと思います。

ではその市補助金がどのくらい保護者負担軽減につながっているかご存知でしょうか。今年度調査したところ、次のようなことが明らかになりました。

小学校では、市補助金総額の約 39.4% が社会見学、スキー学習バス代などの施設利用、交通費の補助に充てられており、全小学校で約 150 万円、約 5,000 名分、1 人当たりすると約 300 円の保護者負担軽減となっています。

中学校では、市補助金総額の約 32.7% が職場・農業体験、スキー学習バス代に充てられており、全中学校で約 105 万円、約 1,800 名分、1 人当たりすると約 580 円の軽減につながっています。

もしこの補助がなかった場合、校内予算で同じ規模の支出を賄うことは予算額的にも、システム的にも難しいため（例えば、市経理配分予算は現金支給ではないため）、保護者から徴収せざるを得なくなります。補助金は大変有効に活用され、保護者負担軽減の大きな役割を担っていることがわかります。

私たちは市補助金の活用内容をお知らせし、市内全教職員が理解を深めることで、学校に必要不可欠な財源として、今後の充実を図っていく一助になればと考えています。

また、連携会議では、今後も保護者負担軽減につながる取り組みを模索していきます。

<編集後記>

厳しい寒さの中、朝晩の通勤も大変ですが、風邪などひいてはけませんか。

今回の「事務だより」では、今年度の連携会議での取り組み結果を紹介させていただきました。

今年度も残すところ 2 か月。年度末の忙しい時期に突入しますが、体調を崩さず乗り切りましょう。

1, 教材費の決定にどのように関わりましたか。

① 関わった（具体的に記述してください。） 11 / 13校

- ・就学援助費の支給方法を職員会議で連絡し、「学級費」は補助対象にならないので予算編成上の工夫を各学年にお願いした。（3校）
- ・教材費担当者と予算額、予算書の基本事項作成の際、教材費は児童へ還元できるもの、その他・予備費の項目は作らないことを確認した。（2校）
- ・教材費担当者、会計担当者会議において、地教委の就学援助費の支給方針（※1）を説明した。（2）
- ・各教科の実習費の納入金額について、根拠となる項目等を調査し、金額を決定した。（2）
- ・職員会議で学校配分予算の決算報告等で教材実習費や生徒会費、PTA会費も含めて執行額を列記し負担割合の見直しや保護者負担の軽減を提起している。

※1 就学援助費（学用品費）の支給方針

恵庭市において、児童又は生徒の所持にかかる物品、各教科及び特別活動の学習に必要とされる用品を学用品費と定義し、それ以外の経費（学級整備費（学級費、学級活動費、活動費、学級設営費）PTA会費、芸術鑑賞費、予備費）は補助対象外。

② 関わらなかった（関わらなかった理由を具体的に記述してください。）

- ・教務部の事項であり、必要教材の適否について判断材料を持ち得ていない。年度反省において、新年度から学年徴収の用紙代を公費負担（配分予算）で対応する方向性を示した。
- ・例年、教務と学年で決定されるから。

2, 関わった結果は、どのようになりましたか。

○項目を削減した …… 3校7項目（2校2項目、1校1項目）

- ・削減した項目を公費化した …… 3校5項目（2校2項目、1校1項目～学級活動費、理科教材費、生徒会費身分証明書代金、教材費全体の中で）
- ・徴収を中止した …… 2校2項目（各校1項目ずつ～芸術鑑賞費、氏名ゴム印）

○変わらなかった

- ・項目に数に変化はなかったが、金額ベースでは各学年とも僅かではあるが減少した。
- ・項目数は減ったが、他の項目へ移動しただけで徴収金額は変わらなかった。
- ・理科実習費を担当者（教科部会）の申し出により減額、生徒会担当者と協議し、学校祭予算（生徒会負担）を減額し、それぞれ校内配分を増額した。

3, 今後、公費負担を考えている項目はありますか。

- ・学級費 ・学年共通で購入しているフラットファイル ・用紙代 ・進路の手引き
- ・ゼッケン用布 ・氏名印 ・生徒手帳 ・名札 ・理科徴収金 ・用紙代 徴収金の減額
- ・修学旅行、宿泊学習用ファイル ・教材費の執行状況を判断してから

4, 市内統一して公費負担に取り組むとしたらどんな項目ですか。

- ・学級費 ・就学援助補助対象外経費 ・ゴム印 ・生徒手帳 ・名札

2013(平成25)年度

教材費・徴収金調査

総括表

1

千歳市公立小中学校
事務職員連携会議

| | A | | | B | | | C | | | D | | | E | | | F | | | G | | |
|------------|---|---|---|---|---|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | 1年 | 2年 | 3年 | 1年 | 2年 | 3年 | 1年 | 2年 | 3年 | 1年 | 2年 | 3年 | 1年 | 2年 | 3年 | 1年 | 2年 | 3年 | 1年 | 2年 | 3年 |
| 国語 | 590 | 590 | 590 | 940 | 940 | 940 | 590 | 1,250 | 590 | 1,240 | 590 | 590 | 1,440 | 690 | 600 | 600 | 600 | 600 | 590 | 590 | 590 |
| 社会 | 2,240 | 910 | 1,200 | 1,310 | 930 | 1,270 | 850 | 1,200 | 2,280 | 890 | 550 | 550 | 3,090 | 0 | 1,160 | 850 | 1,180 | 790 | 910 | 550 | 550 |
| 数学 | 490 | 490 | 490 | 570 | 570 | 570 | 570 | 570 | 490 | 490 | 490 | 490 | 500 | 500 | 490 | 490 | 490 | 460 | 460 | 460 | 460 |
| 理科 | 1,490 | 830 | 830 | 1,240 | 590 | 590 | 1,150 | 1,150 | 1,370 | 680 | 680 | 680 | 1,760 | 1,090 | 990 | 990 | 990 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 英語 | 770 | 590 | 590 | 1,120 | 640 | 640 | 640 | 640 | 990 | 590 | 590 | 590 | 860 | 580 | 740 | 1,040 | 640 | 1,260 | 1,260 | 1,260 | 1,260 |
| 音楽 | 3,630 | 0 | 0 | 1,110 | 300 | 300 | 410 | 410 | 840 | 0 | 0 | 840 | 840 | 840 | 430 | 1,270 | 430 | 2,100 | 0 | 0 | 0 |
| 美術 | 4,120 | 1,200 | 1,000 | 1,580 | 330 | 330 | 350 | 900 | 4,000 | 1,480 | 1,590 | 1,590 | 4,570 | 1,200 | 2,750 | 900 | 900 | 892 | 892 | 892 | 892 |
| 技術 | 1,500 | 3,700 | 1,000 | 500 | 0 | 0 | 2,100 | 3,400 | 1,800 | 1,650 | 400 | 400 | 2,700 | 3,200 | 2,200 | 3,400 | 1,500 | 2,100 | 2,100 | 2,100 | 0 |
| 家庭 | 1,000 | 1,000 | 800 | 500 | 200 | 250 | 500 | 1,300 | 1,300 | 1,400 | 700 | 700 | 1,000 | 1,000 | 1,050 | 1,100 | 370 | 1,680 | 1,680 | 1,680 | 1,680 |
| 体育 | 0 | 0 | 0 | 630 | 0 | 0 | 0 | 0 | 400 | 400 | 400 | 400 | 510 | 510 | 0 | 0 | 0 | 350 | 350 | 350 | 350 |
| 共通 | 960 | 960 | 3,500 | 3,600 | 4,800 | 3,000 | 1,540 | 1,540 | 903 | 863 | 3,462 | 3,462 | 1,670 | 2,220 | 1,840 | 1,840 | 2,380 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 小計 | 16,790 | 10,270 | 10,000 | 13,100 | 9,300 | 7,890 | 12,010 | 11,020 | 15,613 | 9,033 | 9,452 | 9,452 | 18,940 | 11,830 | 14,440 | 11,240 | 9,580 | 10,222 | 8,242 | 8,242 | 5,782 |
| その他 | 630 | 460 | 460 | 0 | 0 | 0 | 825 | 825 | 1,335 | 965 | 965 | 965 | 880 | 660 | 660 | 560 | 560 | 0 | 0 | 0 | 2,500 |
| 旅行 | 5,600 | 15,050 | 65,580 | 2,500 | 8,500 | 61,000 | 20,600 | 66,000 | 9,600 | 12,200 | 65,428 | 65,428 | 3,700 | 9,300 | 5,300 | 11,500 | 63,000 | 0 | 0 | 0 | 59,010 |
| 諸会費 | 1,200 | 1,200 | 9,700 | 1,600 | 1,600 | 9,900 | 3,300 | 11,200 | 3,350 | 3,000 | 10,700 | 10,700 | 1,800 | 1,800 | 0 | 0 | 10,600 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 小計 | 7,430 | 16,710 | 75,740 | 4,100 | 10,100 | 70,900 | 10,710 | 24,725 | 14,285 | 16,165 | 77,093 | 77,093 | 6,380 | 11,760 | 5,960 | 12,060 | 74,160 | 0 | 0 | 0 | 61,510 |
| 合計 | 24,220 | 26,980 | 85,740 | 17,200 | 19,400 | 78,790 | 25,400 | 36,735 | 29,898 | 25,198 | 86,545 | 86,545 | 25,320 | 23,590 | 20,400 | 23,300 | 83,740 | 10,222 | 8,242 | 8,242 | 67,292 |
| PTA | 2,760 | 2,760 | 2,760 | 3,000 | 3,000 | 3,000 | 4,000 | 4,000 | 2,200 | 2,200 | 2,200 | 2,200 | 2,400 | 2,400 | 3,000 | 3,000 | 3,000 | 6,000 | 6,000 | 6,000 | 6,000 |
| 部活動 | 3,480 | 3,480 | 3,480 | 3,600 | 3,600 | 3,600 | 3,600 | 3,600 | 2,400 | 2,400 | 2,400 | 2,400 | 3,600 | 3,600 | 3,600 | 3,600 | 3,600 | 4,800 | 4,800 | 4,800 | 4,800 |
| 総計 | 30,460 | 33,220 | 91,980 | 23,800 | 26,000 | 85,590 | 33,000 | 44,335 | 34,498 | 29,798 | 91,145 | 91,145 | 31,320 | 29,590 | 27,000 | 29,900 | 90,340 | 21,022 | 19,042 | 19,042 | 78,092 |
| 証書 ファイル | 証書 ファイル430円(同窓会費に 含む) 印鑑代330円(PTA会計より) | 証書 ファイル480円(PTA会費に 含む) 印鑑代は600円(同窓会費に 含む) | 証書 ファイル312円(同窓会費に 含む) 印鑑代500円(PTA) | 証書 ファイル290円(PTAと生徒会 折半) 印鑑代350円(PTA会計より) | 証書 ファイル472円(PTA会費より) 印鑑代500円(同窓会) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| スキー バス | バス代負担なし、旅費日当のみ請求 | バス代負担なし、旅費日当のみ請求 | バス代負担なし、旅費日当のみ請求 | バス代負担あり(生徒と同額)旅費は日当のみ請求 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |